良導絡測定で興奮抑制の出現しなかった症例

後 藤 公 哉*

Cases of the appearance neither excitation nor inhibition in Ryodoraku measurement.

KIMIYA GOTO :

Director of East Japan Branch on Japan Society of Ryodoraku Medicine

The most important characteristic of Ryodoraku therapy is Total Ryodoraku Measurement and Tonification or Sedation point Therapy is one of the most important elements in General Regulation Therapy (GRT) of Ryodoraku.

This time I encounter cases which patients complain symptoms but there are no excitation or Inhibition points out of Physiological Range on their Ryodoraku Chart.

There are three kinds of Total Ryodoraku Therapy, one is Basic*regulating therapy and another is Tonification or Sedation Point Therapy on the other hand, there is Reactive Electro Conductive Points (RECP) Therapy. It has been explained all of them should be gone through the procedure; General Regulation Therapy (GRT) of Ryodoraku would be completed.

I have question whether it could be omitted of Tonification or Sedation Point Therapy or not, for effective result, on special case. Then I report inspection for three case omitted G.R.T. First case indicates only 11 μ A. Even it measured on Magnified Measurement, second is taken antidepressant, and third is wearing Minus-ionic-Mask on patient' s mouse.

On the result, symptoms are decreased on three cases. According with basic regulating point' s therapy, Reactive Electro Conductive Points (RECP) therapy on symptom concerning Ryodoraku, and experienced point therapy.

【はじめに】

良導絡治療の最大特徴は全良導絡測定にある。症状を訴えて来院した患者が、良導絡チャート上に興抑を現さない症例に遭遇する。

全良導絡調整療法の中で興奮点抑制点の治療は大切な治療法の1つである。興抑点治療を行わなかった症例を報告する。

*後藤鍼灸整体療院 〒221-0076 横浜市神奈川区白幡町2-8 TEL 045(401)3917 FAX 045(401)7389

Eメール go0101@mx4.mesh.ne.jp

キーワード：良導絡測定 無興奮無抑制 基本調整点治療

【目的・対象】

良導絡治療には基本調整点治療と興奮点抑制点治療の全良導絡調整法と反応良導点治療がある。興奮点抑制点治療を行わなくても効果があるものかどうか、測定結果が生理的範囲から逸脱しなかった、拡大測定、抗鬱剤服用、マイナスイオンマスク装着の3症例を報告する。

【症例Ⅰ】

94才 女 主訴：変形性膝関節症

初診時：1ヶ月前夕食後に手足に力が入ら

なくなった、血圧は190-100mm/Hg、病院に1週間入院点滴治療、今は降圧剤で安定している。両膝が階段昇降時痛、膝間4横指、O脚から変形膝関節症と思われる。大腿四頭筋強化のため、下肢30° 挙上を指示。

高血圧、耳鳴り、めまい、口乾、足腰だるい、頭痛、目がばやける等から肝腎陰虚と思われる(1)。

初診時良導絡チャート：12V測定では10 μ A以下で興抑が出現しないため、21V拡大測定を行った(図1図2)。

図1：初診時12V測定 平均値4 μ A H系5 μ A F系3 μ A

図2：21V拡大測定 平均値11 μ A H系17 μ A F系4 μ A

治療：基本調整点V型(2。膝周囲の反応良導点、EX(下梁丘)、EX(下血海)、EX(内陰)、EX(内膝眼)に低周波置鍼療法3Hz20分間。H5-5(外関)、F4-8(崑崙)、F1-9(陰陵泉)、F4-37(肝俞)、F4-32(腎俞)に置鍼10分間。

H4(小腸)H5(リンパ)H6(大腸)の抑制点、F1(脾)F3(腎)F4(膀胱)F5(胆)F6(胃)の興奮点を使用せずに、手足の反応良導点、H5-5(外関)、F1-6(三陰交)、F5-10(陽交)の経穴を使用した。

治療：同様治療後、21診時、膝痛改善、良

図3：15診時 平均値15 μ A H系21 μ A F系9 μ A

図4：21診時 平均値19 μ A H系28 μ A F系9 μ A

導絡平均値も $4\mu\text{A}$ から $19\mu\text{A}$ に改善した(図4)。

【症例Ⅱ】

62才 女 主訴：肩こり

初診時：頸肩のこり、血圧を病院で測定すると緊張からか $160\text{-}90\text{mm}/\text{Hg}$ と何時も高く

なる。立ち仕事、食欲減退、腹部膨満、無気力、倦怠感、顔のつやがないことから脾気虚と思われる(3)。

初診時良導絡チャート：H4(小腸) H5(リンパ) H6(大腸)の興奮、F2(肝) F3(腎) F5(胆)の抑制が著明であった(図5)。

図5：初診時 平均値 $28\mu\text{A}$ H系 $40\mu\text{A}$ F系 $17\mu\text{A}$

図6：6診時 平均値 $32\mu\text{A}$ H系 $39\mu\text{A}$ F系 $25\mu\text{A}$

治療：基本調整点治療V型に興奮抑制点治療。F4-59(天柱)、F5-25(風池)、F5-24(肩井)、H4-11(天宗)、F4-37(肝俞)、H5-9(四瀆)に低周波置針療法 3Hz 20分間。一般的な良導絡治療で症状と良導絡チャートの改善がみられた(図6)。

1年半ぶりに再来院時：主訴が頸肩のこ

り、血圧 $140\text{-}80\text{mm}/\text{Hg}$ 、風邪から咳と肩こりがひどいと訴える。

再診時良導絡チャート：咳がでる為に天然鉱石を練り込んだ特殊加工のフィルターから、マイナスイオンが発生するマスクをしたままでの測定の為か、測定値の興抑が出現しなかったものと考えられる。(図7)。

図7：再診時 平均値： $15\mu\text{A}$ H系 $15\mu\text{A}$ F系 $15\mu\text{A}$

図8：2診時 平均値： $10\mu\text{A}$ H系 $11\mu\text{A}$ F系 $9\mu\text{A}$

治療：基本調整点治療V型。肩こり風邪の改善に頸肩背部の反応良導点、F4-59（天柱）、F5-25（風池）、F5-24（肩井）、F4-43（風門）、F4-42（肺俞）、F4-37（肝俞）に低周波置針療法 3 Hz20分間。咳の改善に手の反応良導点、H1-8（尺沢）、H1-6（孔最）に置針10分。

2 診時：翌日マイナスイオンマスクをはずして測定を行った。

良導絡チャート：H1（肺）F4（膀胱）の興奮、H3（心）H6（大腸）F2（肝）F5（胆）の抑制が出現した（図8）。

治療：前回と同様の治療を行い、H3（心）H6（大腸）F2（肝）F5（胆）の興奮点、H1（肺）F4（膀胱）の抑制点の治療は行わなかった。

4 診時：咳、頸肩のこりと症状が改善した。

	氏名	年齢	性別	平均値	H1左	H1右	H2左	H2右	H3左	H3右	H4左	H4右	H5左	H5右	H6左	H6右	F1左	F1右	F2左	F2右	F3左	F3右	F4左	F4右	F5左	F5右	F6左	F6右	調整前例数	調整後
1	HH	73	♀	18	36	43	30	21	21	18	28	14	22	30	40	32	11	10	8	4	3	6	17	8	3	0	16	17	4	6
		10分後		30	40	27	37	28	20	19	54	47	48	56	61	75	19	14	31	7	4	8	19	19	13	8	38	34	6+2	7+1
		30分後		21	31	34	27	24	24	16	22	20	28	38	27	43	18	12	17	7	5	8	23	24	9	9	23	29	2-2	5-1
2	GK	51	♂	26	27	25	30	23	19	21	28	16	56	15	24	24	22	31	39	36	15	26	30	45	6	9	29	37	5	5
		10分後		21	22	12	21	35	10	13	17	20	21	39	13	15	22	27	29	27	20	20	14	22	7	23	29	24	4-1	4-1
		30分後		20	36	27	31	30	23	24	30	18	21	19	15	23	22	12	27	19	11	10	15	23	5	3	10	23	2-3	4-1
3	YT	37	♂	80	107	100	75	90	67	72	87	68	87	104	94	90	57	55	67	66	84	92	56	49	77	73	72	85	4	5
		10分後		77	104	118	77	83	69	82	82	86	84	88	66	88	52	61	66	81	88	89	34	60	67	70	69	81	3-1	3-2
		30分後		52	64	68	49	59	60	46	65	46	68	77	82	68	31	18	41	59	52	58	20	29	44	37	37	58	3-1	4-1
4	OT	37	♂	53	55	95	51	76	77	71	28	15	23	24	39	28	57	63	54	29	67	72	76	73	39	39	64	65	8	6
		10分後		55	71	81	57	68	73	66	57	27	32	31	40	53	54	61	43	50	73	74	70	61	35	35	46	57	7-1	5-1
		30分後		53	60	109	56	71	77	51	39	32	34	37	42	75	63	63	36	33	52	64	74	70	20	26	40	28	4-4	6±0
5	YT	51	♀	24	0	59	30	33	26	44	28	24	24	50	54	46	31	32	5	5	8	5	32	29	1	4	6	9	4	9
		10分後		24	44	51	26	40	21	27	33	17	24	44	47	33	22	23	4	8	3	1	28	37	4	3	22	10	5+1	6-3
		30分後		28	45	60	36	29	26	31	36	23	28	50	50	34	31	27	9	9	12	5	33	35	6	3	19	23	3-1	5-4
6	KT	48	♂	44	62	79	47	57	40	48	23	39	66	56	82	80	41	47	52	53	13	24	64	21	5	12	22	25	6	8
		10分後		31	24	46	19	21	16	22	10	13	65	51	40	68	36	53	24	29	16	21	69	36	7	13	30	18	4-2	6-2
		30分後		21	24	30	33	41	18	22	7	14	18	26	19	23	36	31	16	12	11	9	50	31	8	2	20	8	3-3	3-5
7	SM	27	♀	26	22	29	20	23	22	20	27	43	45	50	46	51	32	35	18	24	15	15	20	20	9	7	12	26	5	5
		10分後		32	32	29	21	22	26	35	61	65	61	87	55	69	18	10	20	28	15	12	16	7	7	2	36	36	6+6	4-1
		30分後		22	20	22	10	28	10	11	4	10	23	17	22	10	56	40	40	29	23	24	28	34	3	16	18	26	3-2	3-2
8	GK	59	♂	8	13	8	7	11	8	5	9	3	4	16	11	7	16	10	6	7	2	1	20	14	2	0	7	6	2	2
		10分後		8	7	8	7	8	6	9	7	6	1	13	10	6	16	10	10	13	3	4	13	18	3	4	9	8	2±0	1-1
		30分後		7	9	4	4	6	6	1	2	6	1	16	8	13	8	8	5	8	1	1	5	20	1	1	23	14	2±0	4+2
9	SR	27	♂	57	64	88	69	104	71	75	69	62	82	77	76	66	66	31	40	44	36	34	33	40	29	20	57	47	3	5
		10分後		66	96	118	107	108	123	99	57	61	98	90	70	78	32	44	52	51	28	30	49	42	27	21	50	47	6+3	6+1
		30分後		84	109	147	118	139	111	96	117	83	113	112	96	109	57	65	53	58	61	67	65	64	33	22	71	62	4+1	3-2
10	NN	54	♂	23	28	25	31	23	20	22	36	11	23	20	10	11	25	37	23	35	16	15	23	18	17	17	35	23	3	4
		10分後		18	12	9	16	4	17	13	9	3	24	25	17	9	26	29	24	30	27	15	32	19	10	17	25	13	4+1	3-1
		30分後		11	7	4	5	4	9	8	5	5	16	23	7	6	27	43	8	8	11	7	15	19	3	3	10	16	2-1	3-1
♂7♀3 平均値の上昇3 変化なし1 下降6 興抑調整9例(31) 興抑増量1例(2)																											16	15	2-33	

図9 マイナスイオンマスク装着

【参考】

マイナスイオンマスク装着が、良導絡チャートに影響があるかの検証を行った。

対象は患者3名、鍼灸師7名。男性7名、女性3名。

結果：良導絡平均値の上昇3例、変化なし1例、下降6名であった。興抑の調整が9例（33ヶ所）、興抑の増加1例（2ヶ所）であった（図9）。

マイナスイオンマスク装着により良導絡チ

ャートの興抑が調整されることは、自律神経になんらかの影響を与えるものと考えられる。

【症例Ⅲ】

49歳 ♂ 主訴：腰痛後に男の更年期障害

初診時：1週間前から起床後に腰痛、座位から立位で腎俞付近が痛む。怒りっぽい、頭痛、顔面紅潮、不眠、足腰がたるい、舌紅か

ら肝陽上亢と思われる (3)。

初診時良導絡チャート：F3 (腎) F4 (膀胱) 抑制があり腰痛の他に、平均値73 μ Aと良導絡測定値のバラツキが大きいため自律神経失調症とも思われる (図10)。

治療：全良導絡調整療法V型。腰痛改善に

図10：初診時 平均値73 μ A、H系102 μ A、F系44 μ A、

再診時：腰痛はないが、5ヶ月間不定愁訴があり、過労、自律神経失調、鬱病とかたづけられてドクターショッピング、抗鬱剤と安定剤を服用している。1週間前風邪からか身体がだるく足が重い、病院の血液検査は異常がない、身体がだるく救急車をよびたい感じと訴える。症状が不安定、不眠、イライラ、焦燥感の精神神経症状と勃起不全、全身倦怠感の男性度症状の他、頻尿、残尿感の泌尿器症状などの男の更年期の3大症状があり、更年期障害ではと考えホルモン補充療法を説明

F4-37 (肝兪)、F4-32 (腎兪)、F4-47 (志室)、EX (腰直)、EX (腎圧)、F4-14 (委中) に低周波置鍼療法 3 Hz、20分間。一般的な良導絡治療である基本調整点治療に興奮点、抑制点の治療を行った。腰痛は1回の治療で痛みが改善した。

図11：再診時 平均値41 μ A H系45 μ A F系38 μ A、

するも癌が心配と訴える。

再診時良導絡チャート：抗鬱剤服用の影響が良導絡チャート上では興抑の変化が現れなかった (図11)。

治療：基本調整点治療V型。肩背部の反応良導点、F4-59 (天柱)、F5-24 (肩井)、F4-37 (肝兪)、F4-32 (腎兪)、F4-47 (志室)、F4-23 (次髎) に低周波置鍼療法 3 Hz20分間。心因性を考えHM26 (百会)、VM16 (膻中)、H2-4 (内関)、H3-3 (神門) に置鍼15分間。興奮点抑制点の治療は行わなかった。

図12：12診時 平均値32 μ A H系37 μ A F系27 μ A

図13：18診時 平均値27 μ A H系34 μ A F系20 μ A

12診時：病院で更年期障害と診断された。仕事が不動産で接客にも対人恐怖と不安感、集中力、食欲、性欲もなくイライラ、微熱37°で運動もできない、以前はジョギングしてサウナに入り、ビールを飲むのが楽しみであったが、飲む気も出ない。薬の副作用が頬と胸に薬疹が発生した。抗鬱剤がホルモンに影響している可能性もあり、病院で抗鬱剤を中止するように指示された。

12診時良導絡チャート：H5（リンパ）H6（大腸）F2（肝）F4（膀胱）F6（胃）興奮、F1（脾）F3（腎）F5（胆）抑制が出現した（図12）。

治療：基本調整V型。F4-59（天柱）、F5-24（肩井）、F4-37（肝俞）、F4-32（腎俞）、F4-47（志室）、F4-23（次髎）の反応良導点に低周波置鍼療法3Hz20分間。HM26（百会）、VM16（膻中）、H2-4（内関）、F1-8（地機）、VM-2（中極）、F3-7（腹溜）に置鍼15分間。18診時：治療後に気分が良く少しずつ改善している。頸肩がはって早朝覚醒、顔が赤く足が冷たい。

治療：基本調整点V型。F4-59（天柱）、F5-24（肩井）、F4-32（腎俞）、F6-10（足三里）、F3-7（腹溜）の反応良導点に低周波置鍼療法3Hz20分間。HM26（百会）、F1-6（三陰交）、H2-4（内関）、H3-3（神門）、VM16（膻中）、F3-26（神蔵）に置鍼10分。

18診時良導絡チャート：H5（リンパ）興奮、F1（脾）F3（腎）抑制があるがバラツキが改善した（図13）。

ホルモン補充療法を継続していても症状をくりかえすが、良導絡治療を行うと症状が軽減する。

西洋医学的処置を併用することにより効果をあげた症例であった。

【結 果】

興奮抑制の出現しなかった3症例では、基本調整点治療V型に症状と関連のある良導絡の反応良導点治療と、経験的に知られている良導点の治療を行なったことにより、症状が軽減した。

【考 察】

良導絡測定で平均値が10 μ A以下で、興奮が現れない場合は、21Vでの拡大測定により興奮を出し治療を行うと中谷は教えている。抗鬱剤、精神安定剤などの服用、マイナスイオンマスク装着により、良導絡チャート上に表現出来ない場合の治療法は、いままでに記載されていない。興奮点治療は、それぞれの良導絡について考えた部位で、興奮点が定められている。身体全体と比較してみると、1ヶ所に刺激を与えると全身の電気抵抗が大きく変動をする。一般の治療刺激によって各良導絡は自律神経の恒常性の働きによって生理的な状態にする作用があり、この恒常性の作用が自然良能力であり健康を維持し病気を治す原動力となるものと考えられる（4）。3症例では、基本調整点治療V型の刺激を行ったことにより、恒常性の働きが現れ症状軽減したものと思われる。

【おわりに】

全良導絡測定では時計、金属は外して測定を行っている。良導絡測定値をチャート上にプロットした際、興奮抑制点が出現しない場合は、患者に薬の服用や他に健康グッズ等の装着の有無を確かめる必要がある。興奮点抑制点は井穴や痛い部位が定められていて臨床上使用しづらい、測定結果が生理的範囲におさまっている場合は基本調整点治療の必要性の他、症状と関係する良導絡上の反応良導点に治療を行うことで、十分に効果があがるものと考えられる。症例集積を今後の課題としたい。

参考文献

- 1) 神戸中医学研究会誌（1988）、中医学基礎上海中医学院編、燎原書店、p250-251
- 2) 後藤公哉（1999）、良導絡療法基礎と臨床エンタープライズ（株）、p33
- 3) 内山恵子（1988）、中医診断学ノート、東洋学術出版社、P102 P118
- 4) 中谷義雄（1977）、良導絡自律神経調整療法、良導絡研究所、P99、P103-104